

モデルプログラム検証 カリキュラム（実施計画 細案（1回分））

実施団体名 公益財団法人浜松国際交流協会

養成 研修 / 基礎・専門・支援員（該当するものに○）

★参照したモデルプログラム NO.（報告書 pp. 207-244） 下線：内容・項目（pp. 72-76）

日時・場所	2018年12月25日(火) 13:30～15:00(90分)・浜松市外国人学習支援センター				
実施団体・機関	公益財団法人浜松国際交流協会				
研修・授業名	支援者のためのスキルアップ講座「学習支援者のための学校理解」				
受講者	・人数：20人程度 ・年齢層：20代()名 30-40代(5)名 50代(7)名 60歳以上(8)名 ・その他：主に放課後学習支援に携わっている方 ・受講者の立場：ボランティア				
演題・テーマ☆	地域の支援ネットワーク形成のための学校理解 ☆研修内容（報告書 pp. 72-76）を反映				
到達目標	学校で活動を行っている支援員に学校組織や教育行政への理解を促すこと				
	活動展開（90分）	★	形態	留意点	参考資料
	導入： <u>グループワーク</u> 支援の状況（学校との関わり）について意見を出し合う(15) （うまくいっていることや困っていること等）	④	活動	・5人程度のグループワーク ・講師（浜松市教育委員会より講師派遣を依頼する）にファシリテートをお願いする	
	展開： 1. <u>教育行政</u> について(15) 2. <u>校内組織</u> について(15) 3. <u>チーム学校</u> という考え方について(15) 4. <u>宿題のポイント</u> (音読、書取)について(15)	④	講義	・市教委の事業説明 ・校内組織（校務分掌）理解 ・ <u>チーム学校の理解</u> ・ <u>学習参加のための支援（スキップフォーリング）</u> を意識	浜松市 HP 学校内の組織図
	まとめ： <u>グループワーク</u> 学校組織を知り、今後、自分がどの立場でどんな役割ができるかを考えて発表する →コメント→振り返り（15）	21	④	活動	・5人程度のグループワーク ・講師にファシリテートをお願いする

特記事項

浜松市外国人学習支援センター地域日本語学習支援事業として行う
研修(90)後に、団体代表者らとネットワーク会議(30)を行う